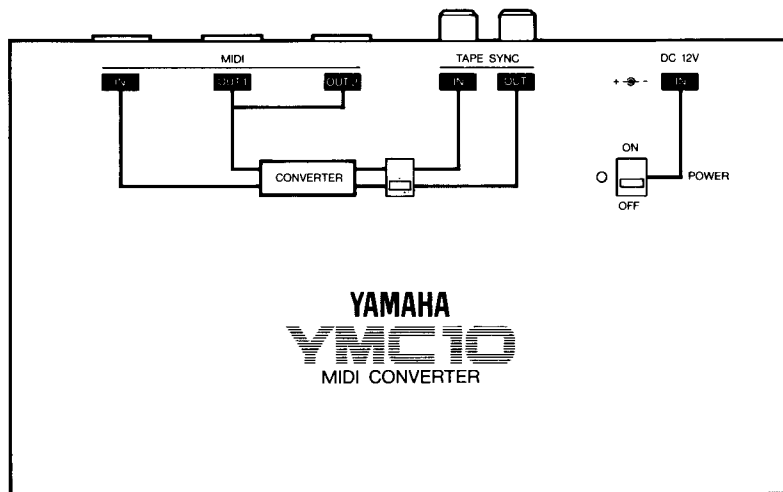


# YAMAHA

## MIDI CONVERTER

# YMC10

## 取扱説明書



ご使用前に必ずお読みください。  
本書には、最終ページに保証書が添付されていますので、所定事項の記入  
および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

このたびは、ヤマハMIDIコンバーターYMC10をお買い求め  
いただきまして、まことにありがとうございます。

YMC10は、MIDI信号をFSK方式のテープシンク信号に変換  
する機能と、テープシンク信号をMIDI信号に変換する機能を  
持ったMIDIコンバーターです。

本機の性能をフルに発揮させると共に、末長くご愛用いただく  
ために、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

## ■目次

ご使用の前に.....	2
MIDIコンバーターYMC10の機能と特長.....	4
名称と機能.....	5
YMC10の使い方.....	7
YMC10の変換機能.....	10
仕様.....	11
関連機器.....	12
ブロックダイヤグラム.....	13
サービスのご依頼について.....	14

# ■ご使用前に

## 設置場所について

次のような場所でご使用になりますと、故障の原因になりますのでご注意ください。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具のそばなど。
- 温度の特に低い場所。
- 湿気やホコリの多い場所。
- 振動の多い場所。

## 無理な力を加えない

スイッチやつまみ類に無理な力を加えることは避けてください。

## セットの移動

セットを移動する場合には、接続コードのショートや断線を防ぐため、他の機器との接続コードを取りはずしてから動かしてください。

## 接続について

接続はそれぞれの電源スイッチをOFFにしてから行なってください。

## ケースを開けない

故障や感電の原因となりますので、ケースを開けたり改造しないようにしてください。

## 外装のお手入れには

外装をベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布したりすることは避けてください。お手入れは、必ず柔らかい布で乾拭きするようにして下さい。

## 他の電気機器への影響について

本機はデジタル回路を多用しているため、ごく近くでラジオやテレビなどを同時にご使用になりますと、ラジオやテレビ側で雑音などが生じることがあります。十分に離してご使用ください。

## MIDIケーブルについて

ケーブルはMIDI規格のものをご使用ください。

ケーブルの長さは15mが限度とされています。これ以上長いケーブルをご使用になりますと、信号波形の劣化等によりトラブルの原因となりますのでご注意ください。

## 電源について

本機の電源はDC+12V専用となっています。電源には付属の専用ACアダプター(PA1)をご使用ください。他のアダプターを使用した場合は故障の原因となることがありますのでご注意ください。

## 電源コードを大切に

コードの断線やショートを防ぐため、ACアダプターをコンセントから抜くときは、コードをひっぱらないで必ずACアダプターを持って抜いてください、外出などで長時間ご使用にならないときは、ACアダプターをコンセントからはずしてください。

◎PA1は国内仕様です。必ずAC100Vの電源コンセントにPA1を差し込んでお使いください。100V以外<例えば200V>の電源には絶対に接続しないでください。

## 落雷に対する注意

落雷などの恐れがあるときは、早めにコンセントからACアダプターを抜きとってください。

## 保証書の手続きを

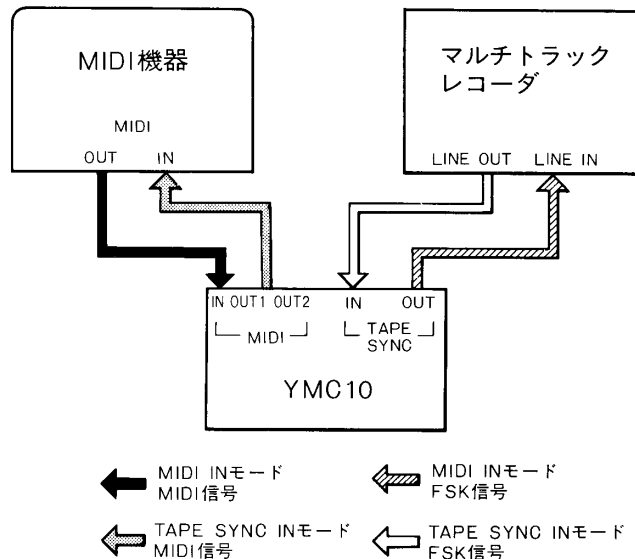
お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合には実費をいただくこととなりますので、充分ご注意くださいようお願いいたします。

## 保管してください

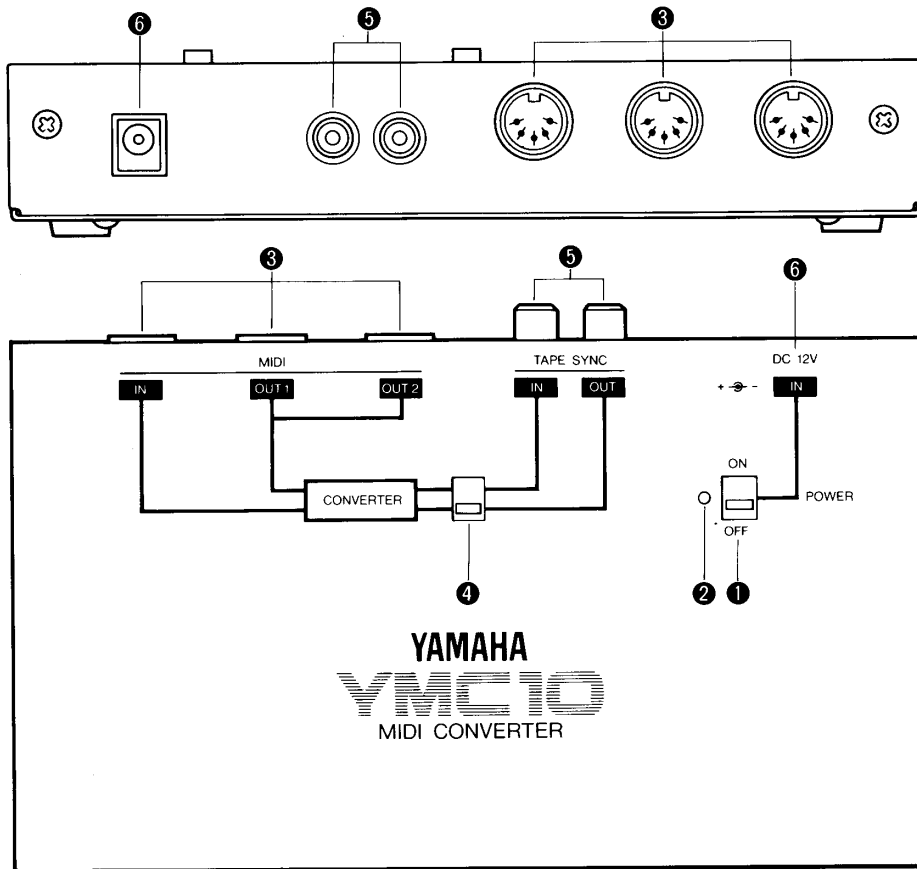
この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

# ■MIDIコンバーターYMC10の機能と特長

- YMC10はMIDIシーケンサーやMIDIリズムマシンを使って多重録音を行ないたい場合、MIDI信号をテープに記録するためのFSK方式のテープシンク信号に変換します。変換されたテープシンク信号をマルチトラックレコーダの1つのチャンネルに記録しておきます。この信号を再びYMC10を通してMIDI信号に変換してシーケンサーやリズムマシンを同期演奏させ、多重録音するための相互インターフェースとして働きます。
- テープシンク信号にはFSK方式を採用しているため、安定した同期が得られます。
- テンポデータ対応は、最小J=25から最大J=300までで対応できる機能を備えています。
- MIDI・INモードの時、MIDI・OUT端子はMIDIスルーとして用いることができます。



# ■名称と機能



## ①POWERスイッチ

電源スイッチです。すべての機器の接続を確かめてからスイッチをONにして下さい。

## ②POWERインジケータ

POWERスイッチをONにするとLEDが点灯します。

## ③MIDI端子

MIDI信号を入出力する端子です。

### IN MIDI信号入力端子

本機をMIDI INモードで使用する時、シーケンサーやリズムマシンのMIDI信号を入力する端子です。

### OUT1,2 MIDI信号出力端子

本機をTAPE INモードで使用する時は、TAPE SYNC INに入力したテープシンク信号をMIDI信号に変換して、出力する端子です。テープシンク信号と同期をとりたいMIDI機器と接続します。OUT1,2ともに同じ信号を出力します。

本機をMIDI INモードで使用する時は、MIDI THRU端子として動きます。

## ④モードセレクトスイッチ

MIDI INモード、TAPE INモードを選択するスイッチです。MIDI信号をテープシンク信号に変換するMIDI INモードでは、MIDI INに入力したスタート、コンティニュースタート、タイミングロック、ストップのMIDI信号をFSK方式のテープシンク信号に変換します。

テープシンク信号をMIDI信号に変換するTAPE INモードではTAPE INに入力したFSK方式のテープシンク信号をMIDIのスタート、タイミングロック、ストップ信号に変換します。

## ⑤TAPE SYNC端子

テープシンク信号を入出力する端子です。

### OUT

本機をMIDI INモードで使用する時、MIDI IN端子に入力したMIDI信号をFSK方式のテープシンク信号として出力する端子です。

### IN

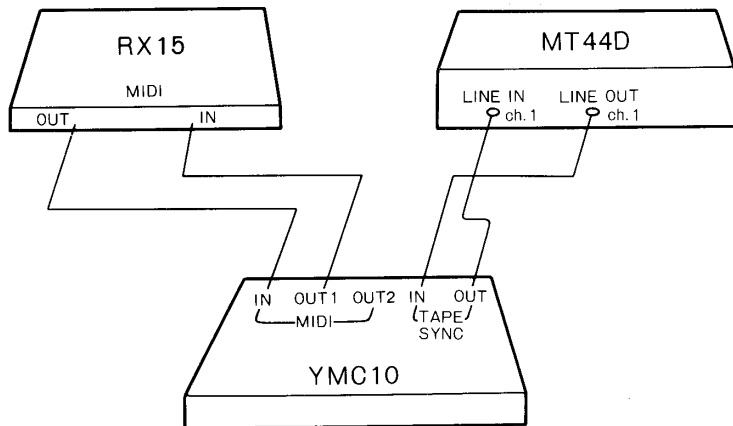
本機をTAPE INモードで使用する時、マルチトラックレコーダに記録されたテープシンク信号を入力する端子です。

## ⑥DC12V端子

付属のACアダプターPA1を接続する端子です。

# ■ YMC10の使い方

1. テープに記録したテープシンク信号で、リズムマシンなどを同期演奏させる。



## 記録方法

- ① デジタルリズムプログラマRX15などとマルチトラックレコーダMT44Dを左図のように接続します。
- ② YMC10のモードセレクトスイッチをMIDI INモードにします。
- ③ RX15のリズムデータをスタートさせ、MIDI OUTから出力されるMIDI信号をYMC10を通しテープシンク信号に変換し、MT44Dのトラック1に記録します。

## 注意

- データを記録する時は、MT44DのレコーディングボリュームをMAXの状態にてテープシンク信号を録音してください。この時、MT44Dのレベルメーターは0 VU程度です。
  - MIDI INモードの時には常時「ピー」音がTAPE OUTから出力されます。曲がスタートすると、ピー音は「ビョロ・ビョロ」音に変わり、曲がストップすると再び「ピー」音に戻ります。
- 録音の目安としてご活用ください。

## 同期演奏方法

- ① YMC10のモードセレクトスイッチをTAPE SYNC INモードにします。
- ② RX15のSYNCをMIDI CLOCKにしておくと、MT44Dのテープを再生することにより、記録されているテープシンク信号でRX15が同期演奏します。  
(このときMT44Dのピッチコントロールにより、RX15のリズムテンポを変えることができます。)

## 注意

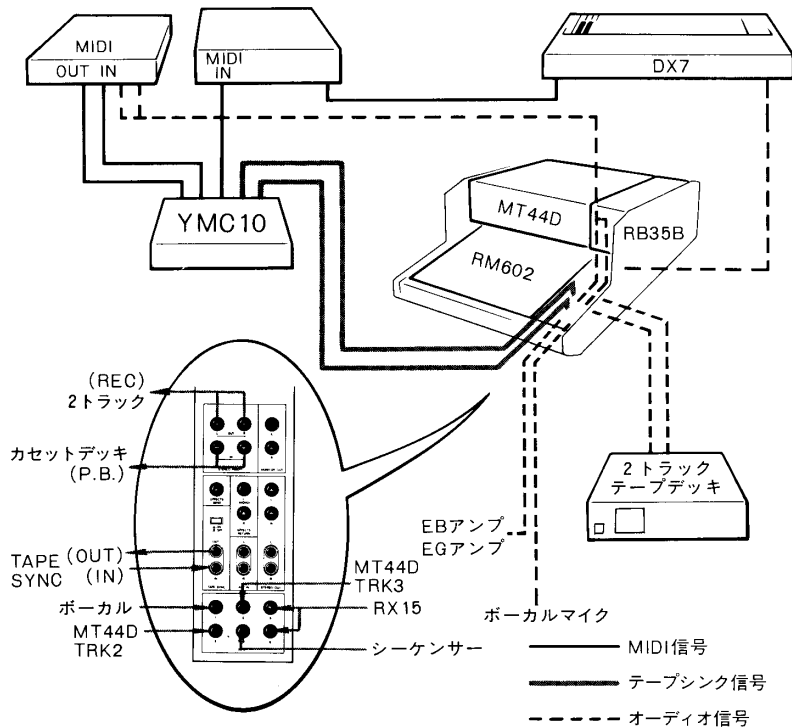
- MT44Dの再生は、TAPE SYNC信号が入っているところより前まで巻きもどしてください。



## 2. 記録したテープシンク信号を使って、MIDI機器を同期演奏させながら多重録音する。

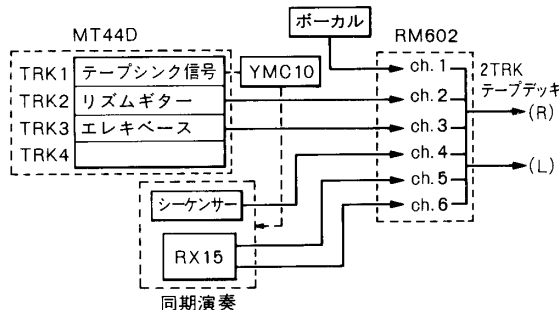
ここではYAMAHAのレコーディングミキサーRM602、マルチトラックレコーダーMT44D、システムラックRB35Bを組み合わせたシステムとMIDI楽器との多重録音方法例を説明します。

多重録音の詳しい説明につきましては、MT44D、RM602、またはRB35Bの取扱説明書をご覧ください。



### 準備

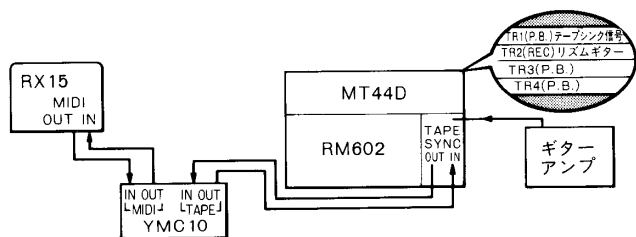
- ① まずレコーディングプランを立てます。  
MT44Dのトラック1にテープシンク信号を記録し、テープシンク信号でシーケンサー、リズムマシンを同期演奏させ、多重録音したものをRM602を使って、2トラックカセットデッキへミックスダウンします。



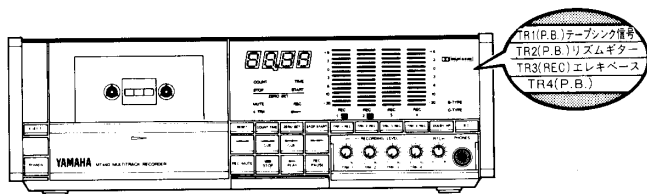
- ② 左記の接続図のように、各機器を接続して下さい。YMC10のTAPE SYNC OUT、INはRB35BのテープシンクOUT、INへ接続し、テープシンクスイッチをONにして下さい。
- ③ RX15にリズムデータをインプットします。
- ④ シーケンサーにシンセパートをインプットします。

## 同期演奏・多重録音

- ① 7 頁の記録方法の手順でRX15をプレイバックしてYMC 10からのテープシンク信号を記録します。
- ② MT44Dのトラックに記録したテープシンク信号でRX15を同期演奏させ、RX15のリズムを聞きながら、リズムギターをMT44Dのトラック 2 へ録音します。



- ③ MT44Dのトラック 3 へエレキベースを録音します。



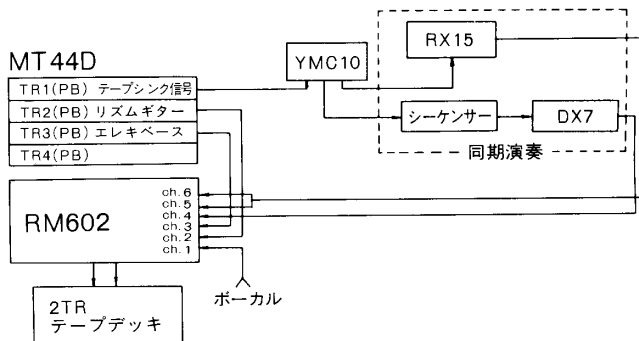
### 注意

YMC10を使って他のリズムマシン又はシーケンサーと同期させている時に、テープシンク信号の記録されたテープを一時停(PAUSE)、停止(STOP)させた場合は、必ずテープをもう一度巻き戻し、最初から同期させて下さい。

これで、MIDIに同期させたマルチトラック録音ができ上がりました。この時点で、リズムマシンのパターンを変えてみたり、シーケンサーに他の伴奏を加えたり、変えたりすることができます。ここにMIDI SYNC録音の醍醐味があります。音楽創造を楽しんでみてください。

- ④ ボーカルを入れて2トラックテープ(ステレオ)にミックスダウンしましょう。

MT44Dをプレイバックスタートさせ、テープシンク信号によりRX15、シーケンサーを同期演奏します。リズムギター、エレキベースも再生されますので、バック演奏を聞きながらボーカルを入れ、RM602でミキシングして、2トラックテープデッキに同時ミックスダウンします。





## ■仕様

---

MIDI受信データー……………スタート, コンティニュー  
タイミングクロック  
ストップ

---

TAPE SYNC OUT……………TAPE SYNC CLOCK(FSK信号) :  
fH=1.953KHz, fL=0.977KHz  
出力レベル -10dB(245mV)

---

TAPE SYNC IN……………TAPE SYNC CLOCK(FSK信号) :  
入力レベル -20dB(78mV)~0dB(775mV)

---

MIDI送信データー……………スタート  
タイミングクロック  
ストップ

---

テンポ範囲……………最小J=25~最大J=300

---

コントロール……………POWERスイッチ  
ON/OFF(LEDインジケーター付)  
MODEスイッチ  
MIDI INモード/TAPE SYNC INモード切換

---

入出力端子……………MIDI           IN×1   OUT×2  
                  TAPE SYNC IN×1   OUT×1  
                  DC(12V)    IN×1

---

寸法(W×D×H)……………190mm×116mm×38.8mm

---

重量……………610g

---

付属品……………ACアダプター PA-1

---

## ■ 関連機器

### RM602

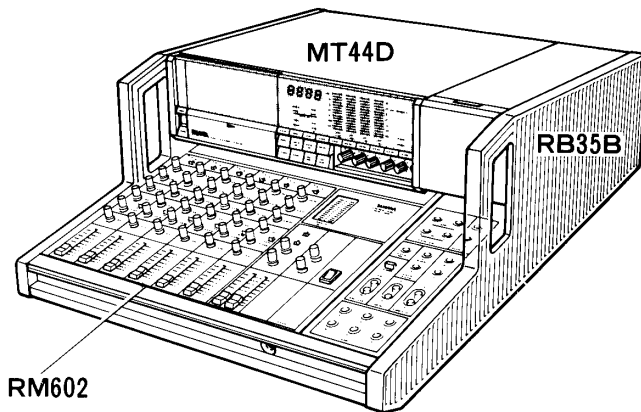
マルチトラックレコーディングは勿論、本格的PAのサブミキサーとしてもご使用いただけます。6チャンネルあることにより、より多彩なマルチトラックレコーディングが楽しめます。

### MT44D

4ch IN・4ch OUTのマルチトラックレコーダーです。手軽なカセットテープ使用の高音質多重録音機として楽しめます。

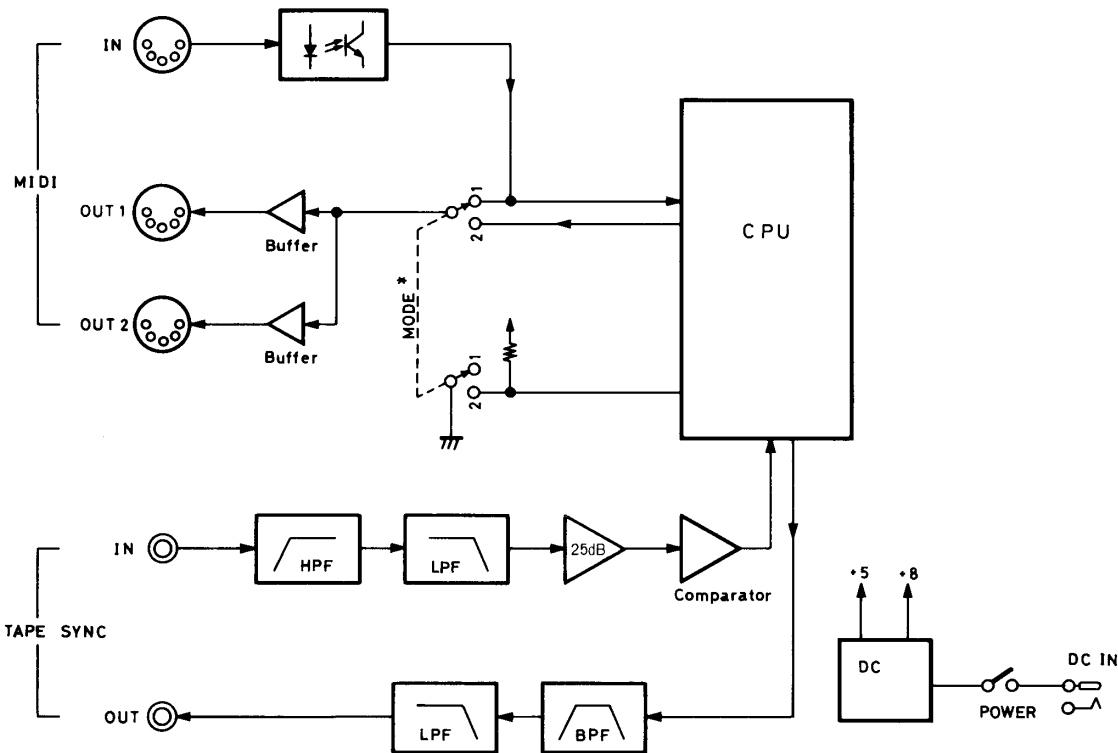
### RB35B

RM602・MT44Dをコンパクトに収納。マルチチャンネルステーションとして、入出力端子を前面に備えた使いやすいラックです。又、TAPE SYNC端子はYMC10の信号をTRK1に自動接続します。



# ■ブロックダイアグラム

\*MODE SW 1: MIDI IN MODE  
2: TAPE SYNC IN MODE



# ■サービスのご依頼について

本機の保証期間は、保証書によりご購入から6カ月です。（現金、ローン、月賦などによる区別はございません。）また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

## ●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

## ●保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに、ご購入の日から向う6カ月間の無償サービスをお約束申しあげるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であつても実費を頂戴させていただくこととなります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種別の判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

## ●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店にご持参頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂戴する場合もあります。又お買上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あるいは電音サービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

満6カ月の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

### 修理受付および修理品お預り窓口

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL (044) 434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 (シルバーボールビル2F) TEL (0252) 43-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内) TEL (06) 877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7(日本楽器高松店内) TEL (0878) 51-7777, 22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 (日本楽器名古屋流通センター) TEL (052) 652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2134
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL (011) 781-3621
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5丁目-7(卸商共同配送センター3F) TEL (0222) 36-0249
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区紙園町西原2205-3 TEL (082) 874-3787
浜松電音サービスセンター	〒432 浜松市東伊場2-13-12 TEL (0534) 56-9211
本社	
営業技術課電音サービスセンター	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL (0534) 65-1111

\*住所及び電話番号は変更になる場合があります。

## 日本楽器製造株式会社

本社・工場 〒430 浜松市中沢町10-1  
TEL. 0534(65)1111

東京支店 〒104 東京都中央区銀座7-11-3/矢島ビル6F  
TEL. 03(574)8592

銀座店 〒104 東京都中央区銀座7-9-14  
TEL. 03(572)3131

渋谷店 〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7/新大宗ビル内  
TEL. 03(476)5441

池袋店 〒171 東京都豊島区南池袋1-24-2  
TEL. 03(981)5271

横浜店 〒220 横浜市西区南幸2-15-13  
TEL. 045(311)1201

大阪支店 〒542 大阪府南区南船場3-12-9/  
心斎橋プラザビル東館(8・9館)  
TEL. 06(251)1111

心斎橋店 〒542 大阪府南区心斎橋筋2-39  
TEL. 06(211)8331

梅田店 〒530 大阪府北区梅田1-3-1/大阪駅前第一ビル  
TEL. 06(345)4731

神戸店 〒651 神戸市中央区元町通2-7-3  
TEL. 078(321)1191

高松店 〒760 高松市丸亀町8-7  
TEL. 0878(51)7777・(22)3045

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1-18-28  
TEL. 052(201)5141

名古屋店 〒460 名古屋市中区錦1-18-28  
TEL. 052(201)5154

九州支店 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL. 092(472)2151

福岡店 〒810 福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内  
TEL. 092(721)7621

北海道支店 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目/ヤマハセンター  
TEL. 011(512)6111

札幌店 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目4番地/ヤマハセンター  
TEL. 011(512)6124

仙台支店 〒980 仙台市大町2-2-10  
TEL. 0222(22)6141

仙台店 〒980 仙台市一番町2-6-5  
TEL. 0222(27)8516

広島支店 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18  
TEL. 082(248)4511

広島店 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18  
TEL. 082(248)4511

浜松支店 〒430 浜松市鍛冶町321-6  
TEL. 0534(54)4116

浜松店 〒430 浜松市鍛冶町321-6  
TEL. 0534(54)4325

